

# 赤川 砂防だより

みんなで防ごう土砂災害



発行 新庄河川事務所  
赤川砂防出張所  
第72号 平成 24年 11月

## 砂防事業を体験!!

・インターンシップ(就業体験)～山大農学部学生～

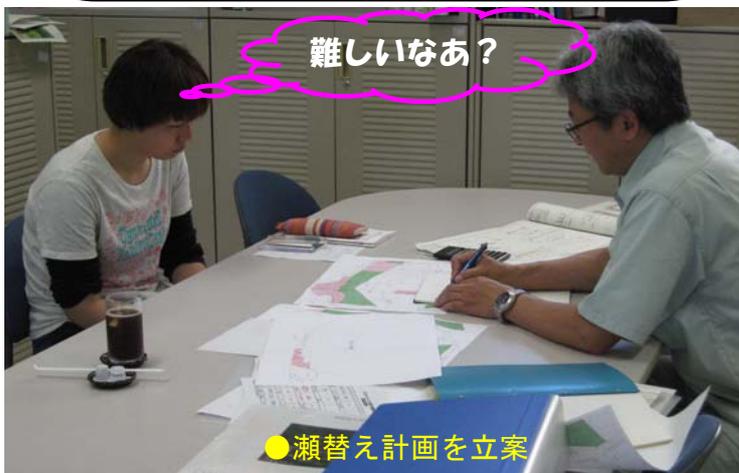
山大農学部の学生1名がインターンシップの一環で8月2日から二日間、赤川砂防出張所管内において、工事現場で測量等の工事作業と地すべり対策事業として施工している「集水井」の調査に携わりました。

## 就業体験メニュー

- ◎赤川砂防出張所管内の事業概要
- ◎最上川流域の荒廃特性と砂防について
- ◎大鳥川砂防堰堤群の仕組みと効果を現地調査
- ◎集水井の仕組みを現地見学
- ◎岩菅沢工事現場見学
- ◎瀬替え計画を立案（河道を掘削して河川を付け替える工事を計画）
- ◎測量・丁張り設置作業（その場所の位置関係を測り、工事を着手する前に正確な位置を出す作業を体験）
- ◎支持力測定（重機が走行できるか、地盤の抵抗力を確認）



●岩菅沢工事現場を見学



●瀬替え計画を立案



●支持力の測定



【地すべり対策事業】  
「集水井」を見学



●「丁張り」  
設置作業

## 一砂防事業就業体験をしての感想一

砂防の役割や従事している方々の仕事内容を垣間見ることができました。地すべり等の土砂災害は起こらないようにすることが不可能に近い現象ですが、かと言って人間の生活から切り離せる訳でもありません。その様な関係のため、山や水を治めながらの生活を人間は昔から営んできたのだと思います。その為、昔から砂防堰堤を造るなどして麓の民家や農地、住民を守ってきたのだと思います。その活動を砂防出張所が担っていることも今回知ることが出来ました。

実際に仕事内容を見学して、人目に付かない山奥で人々の為に働く現場の方々の格好良さを知ると共に、その仕事の正確さや計画・実施までの綿密さに圧倒されました。それも、土地の地質や地形を理解している専門家だからこそ出来る事業だと改めて感じ直す就業体験になりました。

# 砂防堰堤の紹介

～西大鳥川第二砂防堰堤～

堤高 5.0m 堤長48.0m  
形式 鋼製セル・ダブルウォール



## 資材は現地から

写真でもお分かりのように4つの円柱からなる珍しい構造となっています。見た目もさることながら、この砂防堰堤の特徴はセルの中にコンクリートを使用せず現地で採取した土砂を詰めて造ったところにあります。

他の堰堤に多く見られるコンクリートダムは建設に大量のコンクリートを必要とするため、資材を運搬する時に車輛の往復が避けられず、道路が狭いこの地区では地域住民への影響が予想されました。

このため堰堤本体には極力コンクリートを用いないで、運搬を最小限にとどめ、現地の土砂を使って施工しました。



セル部分を施工中(平成14年度)



# 仮排水路の掘削完了し吉村知事が肘折地区に「安全宣言」

## ～ 8/11 大蔵村肘折地区県道復旧工事着工式

8月11日、大蔵村肘折地区において地すべりにより通行止めとなっている県道の復旧工事着工式が現地で行われ、吉村知事、徳山局長らが出席し、工事の安全を祈願しました。この中で吉村知事が山形県が施工した銅山川の仮排水路掘削が完了したことから、「肘折地区は安全」と宣言し、来賓として出席した徳山局長も知事の安全宣言を広くアピールしてほしいと挨拶を行いました。

着工式終了後は、渡河施設を渡って崩壊地対岸に移動し、掘削が完了した仮排水路が関係者に公開され、当事務所が地すべりの概要等を、山形県が仮排水路の説明を行いました。また、東北地方整備局所有の遠隔操縦式バックホウのデモンストレーションも実施しました。



安全宣言する吉村知事



地すべり概要を説明する花岡事務所長



遠隔操縦式バックホウデモンストレーション(倒木の伐採)

## ・ 溪流調査 in 早田川 ～山形大学との合同調査～

10月11日、早田川で新庄河川事務所と山大農学部が共同で溪流調査を実施しました。

当事務所では、H22年度に早田川砂防堰堤にスリット(すきま)を入れる工事を行いました。その砂防堰堤のスリット化による、溪流内の土砂移動の変化等を確認するために、昨年からの調査を行っています。一方、山形大学では早田川のサクラマス産卵床調査等を行っていることから合同で溪流調査を行いました。また、当事務所の調査委託会社が溪流環境調査として、潜水による魚類調査等を実施しました。

11日は水量が少なくサクラマスの遡上を確認できませんでしたが、後日(18日)5匹程のサクラマスを確認することができました。



山大演習林↓

魚類の調査状況(11日)



スリットがある砂防堰堤

産卵床の調査状況(11日)



遡上する大型魚(18日)

### お問い合わせ先

国土交通省 新庄河川事務所  
赤川砂防出張所

〒997-0404 鶴岡市下名川字落合227  
TEL 0235-53-2841 FAX 0235-53-2807

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>  
Eメール [shinjou@thr.mlit.go.jp](mailto:shinjou@thr.mlit.go.jp)

ご覧いただいた感想や、砂防事業・国土交通省の事業へのご質問、ご意見をお寄せください。



レッド君